



# いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：関口 武司 幹事：有賀 行秀 発行：会報・広報委員会

第 3119 例会 (10号) 2018 年 9 月 13 日 (木) 曇

## 外部卓話 SPEECH

### ニカラグア女子野球への支援を



JICA 青年海外協力隊

阿部 翔 太様

きょうは貴重な時間をいただきまして、ありがとうございます。簡単に自己紹介させていただきます。1991 年生まれ。平三小、平三

中を経ていわき光洋高から桜美林大に進みました。大学卒業後、ブライダル業界に入りました。その後、JICA の青年海外協力隊員としてニカラグアに派遣され、6 月中旬まで約 2 年間活動しました。

私が協力隊に応募したのは、祖母の死に直面したことがきっかけでした。祖母は「1 日 1 日を大切に元気でね」とのメッセージを残してくれました。自分は今を大切に生きているか、自問しました。そこで導き出した答えが、今やるべきことを全力でやろうということです。もともと、世界の子どもたちに野球を伝えたいという気持ちがあったので、実現のために青年海外協力隊を選びました。

ニカラグアは中米に位置し、北海道と九州を合わせたほどの面積です。人口は約 600 万人、公用語はスペイン語です。5 月から 10 月までは雨期、11 月から 4 月が乾期です。農業が主産業で、コーヒーやバナナ、牛肉などが生産されています。

ニカラグアは野球が盛んで、大リーグの投手の最多勝利記録はニカラグア出身のデニス・マルティネスという選手です。245 勝を挙げています。まちなかのちょっとした空き地でも野球を楽しむ人が多いです。青年海外協力隊では 2016 年からニカラグアの U12 と U18 の代表チームの指導、野球の普及、野球を通しての青少年の育成に当たってきました。ニカラグアはドラッグを使用する子どもが多く、野球を通しての健全育成を依頼されました。

主に小中学校を回っていましたが、当初、体育の授業はイコール休憩時間という状態でした。ニカラグアは一日中暑いので、先生方も外に出たくな

いという思いがあり、体育は休憩になってしまったようです。そして、野球は男子がするものとの概念があって、体育の授業で野球をしても女子は教室で自習という状態でした。校長に女子にも野球を、と話をするとスポーツ省の許可や親の許可が必要との回答で、どうにか許可を得て体育での女子の野球をスタートさせました。

道具もない、体操着すらない生徒が多い中でのスタートでしたが、彼女たちの野球を楽しむ姿に助けられました。始めはペットボトルやプールで使うプラスチック素材などを活用してバッティング用のティーやバットを作るところから始まりました。体育の授業とは別に毎日午後から、スポーツ省で野球教室を開いていました。男の子だけだったのですが、ある日、13 歳のミッチェルという女の子が訪ねてきました。彼女は野球が好きで、兄弟の中の男の子は野球をしていましたが、家庭の方針で女の子のミッチェルは野球ができませんでした。多くの人と関われる野球が好き、女子の野球チームを作って外国に行って試合をしたいという彼女の言葉に動かされ、母親の許可を取り付け教室に参加させました。SNS でミッチェルの様子を発信すると、どんどん女子が集まってきて 1 カ月半で 30 人ほどが参加するようになりました。そこで、スポーツ省と掛け合ってニカラグア初の女子チームを発足させました。もともと野球好きな国民ですから、女子野球の動きは国内各地に広まり、2017 年 6 月には女子リーグが発足し、1 年で 15 チームが活動するようになりました。

しかし、今年のリーグ戦開幕を控えた今年 4 月にニカラグアで反政府デモが始まり、野球ができる環境ではなくなりました。私の任期は 10 月まででしたが、危険な状況で帰国を余儀なくされました。帰国後も生徒とのメールのやりとりは続いていました。過酷な状況の中でも私を気遣ってくれる優しい気持ち、前向きな生き方が伝わってきました。何もできない自分を悔しく思い、原点に戻って自分が今できることを全力でしようと考え、ニカラグアの女子選手を日本に招く活動を始めました。選手を招待するためのクラウドファンディングを実施していますので、ぜひご協力をお願いします。



2018~2019 年度  
国際ロータリーのテーマ

「インスピレーションになろう」

BE THE INSPIRATION

# 「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

## 司会：有賀幹事

〔点鐘・ロータリーソング（我等の生業）・  
四つのテスト（鈴木弘康会員）〕



鈴木弘康会員

### ★ 結婚祝



池田 直彦さん  
(9月1日)

## ◆会長挨拶ならびに報告



ちょうど一週間前に北海道の地震がありました。今年は西日本の豪雨や異常な高温など災害の多い夏でした。改めて災害への備えが必要だと感じました。亡くなられた方のご冥福を祈ります。さて、前回、ノーベル賞に話をしました。ノーベル賞の賞金は一般的に、さらなる研究や慈善団体への寄付などに充てていますが、中には変わった使い方をしている人もいます。その一人がアインシュタインです。アインシュタインは賞金1億5000万円を別れた奥さんへの慰謝料にしました。アインシュタインは35歳の時に、愛人があることを奥さんに知られました。お金がなかったために、ノーベル賞を取って賞金で慰謝料を払うと提案して離婚し、愛人と再婚しました。別れたのが1919年で、その2年後に宣言通りノーベル賞を受賞し、無事慰謝料を払いました。別れた奥さんは4階建ての豪邸を造ったそうです。

## ◆幹事報告

○郡山RCより会報が届きました。

## 委員会報告

### ◆出席委員会（五十嵐敦副委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
9月13日	52名	28名	—

### ◆ロータリー財団委員会（越智正典委員長）

関口武司さん、飯野光世さん、黒須幸雄さん、越智正典さん。以上4件

### ◆米山記念奨学会委員会（大久保健蔵委員長）

関口武司さん、飯野光世さん、黒須幸雄さん、大久保健蔵さん。以上4件

### ◆雑誌委員会（高橋康二副委員長）

○ロータリーの友9月号の見どころ読みどころ

横組 7～14ページ 子どもの貧困対策

22～27ページ 心は共に「東日本大震災」

34～35ページ 米山記念奨学事業の基礎知識

縦組 4～8ページ 包括的こども食堂

### ◆高木秀訓会員からお知らせ

会社の継ぎ方 事業承継セミナーを10月4日午後2時からラトブで開催します。参加無料ですので、興味のある方はご参加ください。

### ◆スマイルボックス委員会（常葉修一委員長）

♥関口武司さん（阿部翔太さんを歓迎して、卓話宜しくお願いします。阿部弘行さん、お帰りなさい）

♥有賀行秀さん（阿部さん卓話よろしくお願ひいたします。そして阿部さんお帰りなさい）♥小野寺順正さん（阿部君、卓話楽しみにしています。がんばれ!!）

♥飯野光世さん（JICA阿部さんを歓迎して）

♥大久保健蔵さん（阿部弘行さん退院おめでとうございませう）♥森雄治さん（阿部さん、おかえりなさい）

♥佐々木貢一さん（阿部様卓話よろしくお願ひいたします）♥山崎慶一さん（阿部さん無事退院おめでとうございませう）

♥阿部弘行さん（おかげさまで無事帰還しました。ご心配いただき、ありがとうございました）

♥黒須幸雄さん（孫が甲子園ではとんでもないピッチングをしました。申し訳ありません。新チームでは副主将となりました。これからの努力を期待しております）

♥池田直彦さん（結婚祝ありがとうございます）

♥郡二三子さん（卓話ありがとうございます。阿部さんの退院を祝して）

以上12件

★本日の例会案内 9月20日（木）12：30～  
ガバナー公式訪問

お食事メニュー＝ビーフストロガノフ

★次回の例会案内 9月27日（木）12：30～  
新入会員卓話

福島テレビいわき支社長 五十嵐敦会員

お食事メニュー＝サーモンといくら丼